



第四十二回卒業式 式辞

175名の四十二期生の皆さん、皆さんの中学校三年間はずっと新型コロナウイルスが流行したり収束したりの繰り返しでした。入学式後の休校、そして昼食時には友だちと喋ることもできず、体育大会は短縮プログラムでの実施となり、クラブ活動や行事も充分にできない期間が長く続きました。先生たちは、できるだけ通常の学校生活を送ってもらいたいという思いで取組みを考えましたが、それでも制限せざるをえず窮屈だった場面も多かったことでしょう。しかし若い皆さんが行動の制限をしてくれたおかげで感染が大きく広がらず救われた命もたくさんあったのだと思います。現在、第八波がほぼ収束し、ようやくマスクの着用も個人の判断となりましたが、感染症の対策をしながら過ごす、ということが日常となった三年間でした。



このような厳しい環境の中でしたが、皆さんはこの十五中でいろいろな事を学び、そして大きく成長されました。皆さん一人ひとりが書いた自己申告票にはそんな姿が生き生きとした言葉で現されていました。皆さんが書かれたものから少し紹介します。

【まず学習面では自分の弱点をあきらめず克服しようと努力した人が多くありました。】
「理科は苦手だったけれど、ある授業での実験をきっかけに、理系の学科に進みたいと思うようになった。」

「水泳が苦手だったが、自分で調べ友達に聞いて泳げるようになり、自信がついたことで他の教科も成績が伸びた」

「歴史が嫌いだったが、自分で時代背景や文化などをネットで調べ、授業に臨んだら内容がパズルのピースのように組み合わせられるようになった」

【皆さんの仲が良いことは修学旅行や先日の送る会などの様子を見ても伺われました。仲間がいたからこそ学べた、という感想も多くありました。】

「仲間の大切さや、コミュニケーションの重要性を知った」

「自分が成長するには、友だちの存在が大切だと気づいた」

「家庭環境の変化があり、学校に行けない日もあった。でも部活は仲間が特別扱いせず受け入れてくれて、引退まで続けることができた」

「バスレクのビデオで皆に喜んでもらえたことで勇気をもらい、人前で自分を表現できるようになった」

【この三年間を通して自分の力を信じ、やり遂げた姿も書かれていました】

「初めての合唱コンクールでピアノを習っていないけれど何度も何度も耳コピーして練

習して伴奏した」

「クラブの練習だけではなく、やるべき勉強もしっかり取り組んだことで試合での成果にもつながった。」

「自発的に始めた朝のランニングは自分の甘さとの戦いでした。」

「幼い兄弟の世話や家事の手伝いなど、学校生活との両立は大変だったけど、効率的に物事を進める力がついた」

【そして、部活で頑張った経験は、何よりも皆さんの力となりました】

「キャプテンをして、リーダーとは人を支配することではなく対等な立場で物事を進める方が、人がついてくることを知った」

「部活の中での人間関係がうまくいってなくて試合で入賞しても嬉しくなかった。それまでの過程の方が大切なんだと気づいた」

「なかなか勝てなかったが、引退試合で初めて勝って団結する力のすごさを知った。」

「個人競技なのでただ自分のために戦うと思っていたが、その経験を話すことにより後輩の役に立つんだと実感した」

「後輩の指導をした時、先輩もこう感じていたのか、と自分自身を客観視できるようになった。」

「責任感や積極性がなかったけど部長になり、自分を変えることができ自信がついた」
私は、皆さんの成長した姿、そしてこれからも成長しつづけたい、という思いに圧倒されました。

これから社会に巣立っていくにあたり、皆さんが修学旅行で取り組んだ「彦根スカイアドベンチャー」のことを思い出してください。あの日インストラクターの人が課題を達成するためには三つの「わ」が大切だと話してくれたことを覚えていますか。

一つ目の「わ」は「話」、二つ目の「わ」は平和の和、和やかという字です。そして三つ目の「わ」は「輪っか」の「輪」です。課題をクリアするためには作戦を共有するために周りの人と「話」をしてつながることが必要です。「和」やかに話し合いをして、みんながまとまるひとつの「輪」を作ることが大切な力になります。

また、ハイエレメントでは8mという、かなりの高所で足がすくみ初めは怖くてなかなか一歩が踏み出せませんでした。しかし一歩踏み出さないと前には進めないのです。勇気を出して一歩踏み出すと意外といけます。だんだんと要領がつかめて、次の課題に進む気力もわいてきます。

これから先の人生でも、挑戦し続ける人には足のすくむ場面が訪れると思いますが「失敗を恐れずに一歩踏み出す勇気」が新しい自分と出会う機会をつくるのです。

【中学校生活の中でも、たとえ失敗をしたとしても、その失敗を糧にして学びを得た人もいます。】

「小学校の時友人の中で孤立した経験があり言葉の重みや付き合い方を深く学び、中学では優しい性格と言われるようになり、社会で大切な力がついたと思う。」

引退試合の後の反省会で「君たちは僕たちみたいなチームにはならないで欲しい」と絞り出すように後輩に語ったキャプテンがいました。1月末、最後の生徒議会の場では、彼をはじめ数名の人たちが自分の経験を語り、失敗を乗り越えるための考え方を後輩たちに実直に伝えていました。その姿に私はとても心を打たれました。

【この三年間で将来への道しるべを得た人もいます。】

「中学入学を機に自分を変えようと人の前に立つ仕事を進んで引き受けた。人をまとめる難しさも知ったけれど、この経験をもとに将来は海外で言葉の壁を越えて人々をつなげる仕事につきたい」

「修学旅行の動画編集で達成感を感じた。これからも人の役に立つ仕事、誰の目につかなくても世の中を支える人になりたい。電気関係の仕事で人の生活を豊かにしたい」

皆さんの将来の夢や志は、多岐にわたります。看護師、お父さんと同じ整備士へのあこがれ、感染症の専門医、グローバル社会で活躍したい、エネルギー問題や環境問題を解決したい、人の門出を祝う花を扱う仕事をしたい、世界中のアスリート取材し報道したい、ホテルスタッフ、グラフィックデザイナー、、、まだまだ紹介しきれませんが、きらきらと輝く個性の集まりだったのだと改めて感じました。

卒業生の皆さん、さあ巣立ちの時です。

十五中で友と創った数多くの思い出は、貴重な財産となります。

また挫折や失敗の経験も、逆境に対応する力を皆さんにつけてくれたことと思います。中学校三年間のさまざまな経験から培った力を礎にして、大きくはばたいてください。卒業後も新しい出会いを大切に、人とつながり自分らしく課題を乗り越えて行ってほしいと思います。

最後になりましたが、保護者の皆さま、お子さまのご卒業、まことにおめでとうございませう。三年間本校の教育活動にご理解、ご協力、またご支援を賜りまして誠に有難うございませう。地域の学校として、今後ともどうぞよろしくお願ひいたします。

以上、卒業生の前途を祝ひ、私からの式辞といたします。

四十二期生の皆さん、ご卒業おめでとうございませう。

送 辞

3月に入り、教室の窓から差し込む日差しに春の気配を感じるようになりました。

本日この第十五中学校を巣立って行かれる42期生の皆様、ご卒業おめでとうございませう。私たち下級生にとって、先輩方は明るくてメリハリがついていて、楽しむ時は男女仲良く全員で楽しんでいるイメージがあります。

私達と先輩方とのつながりは、何と言っても部活動です。部活動で先輩方は憧れの存在でした。その背中を僕達は追いかけて過ごしました。また下級生には温かく、僕が一人で心細い時も、気さくに声をかけてくれ、それで安心して活動できました。どんなにきつい練習の時も笑顔で励ましてくれた先輩が僕は大好きでした。そして、大会で成果をあげることができ、一緒に喜びあった時間はかけがえのない思い出です。

もう一つ忘れられないのは体育大会です。応援合戦は、各団の応援団長さんの全校集会での個性あふれる挨拶から始まりませう。クラス応援の団結力。迫力のあるリレー。真剣に係に取り組む姿。一丸となって挑んだ学年競技。全てがかっこよく大会を盛り上

げてくれました。このように、3年生の先輩方はいつも私たちの先頭に立ち、私たちに道を示し共に歩んでくださいました。本当にありがとうございました。

いつも頼りになる存在であった先輩方が卒業されると思うと、とても心細く感じます。しかし、私たち2年生は先輩方から学んだ「やる時には全力を出し切り楽しむ」という姿勢を忘れず、日々努力しこの学校の新しいリーダーとして後輩の良き手本となるように頑張っていきたいと思えます。

これから先輩方は、一人ひとりの選んだ道へと一歩ずつ進まれます。これまでより広い世界へ羽ばたこうとしている今、大きな期待と大きな不安を抱えていることでしょう。けれど私たちに見せてくれた前向きな姿勢と互いを思いやる気持ちを忘れず頑張ってください。私たちはいつでも応援しています。今まで本当にありがとうございました。

これから始まる新しい日々を全力で楽しんでください。

在校生代表

au卒業サプライズ企画

特別なことが起こりました。KDDI株式会社の「au卒業サプライズ企画 超卒業式」に3年生の先生が応募したところ、見事に選定されたのです。

卒業式後のホームルームを終え、何も知らされず再び体育館に入った3年生。その前に現れたのはさや香（昨年M-1グランプリ準優勝）でした。そして、菜々緒さんからのビデオメッセージ。さらにはウンパルンパさん（TikTokでフォロワー180万人）が現れ、42期生のみんなは狂喜乱舞！（我々や保護者席は「ポカーン」という感じてましたが、..）

当日の様子が既にYouTubeに挙がっています。

右のQRコードまたは下のURLから見られます。



<https://m.youtube.com/watch?v=b8rkdv75Paw&feature=youtu.be>

https://youtu.be/q1_0cegRAoM

校庭にはフォトスポットのパネルが設置されました ▶



タイムカプセル

3月8日、満開の河津桜の下の花壇に、42期生が5年後の自分に向けて書いた手紙がタイムカプセルにして埋められました。これは、PTAのOB会であるむらたけ会の皆さんが毎年卒業生のためにして下さる催しです。5年後の成人の日にそれを取り出し、一人ひとりに渡されます。今の気持ちを5年後に読み返すと、自分の成長を感じられたり5年前の自分から元気ももらったりもできるでしょう。むらたけ会の皆さま、有難うございます！

